



- ・よこはま(YOKOHAMA)
- ・横からのサポート(YOKO)
- ・ワイワイ語り合う(Y)



よこはま保育・教育室

「園内研修リーダー育成研修」の公開保育実施園(3歳児クラス)に訪問した関東学院大学の三谷先生に、Yサポ2名(令和7年度認定)が随行し、先生から支援の方法や視点を学んだことをお伝えします！

Yサポの活動を通じた気づき

1回目訪問

担任の思いが室内環境にあふれていた。「何を大切にしていきたいのか」という担任の気持ちを大切にしながら、こどもたちの発見と一緒に楽しんでいきたい。



2回目訪問

全クラスをじっくり見せていただいた。それぞれのクラスカラー、担任のカラーがあり、こどもたちの気づきを拾っていき保育の中に取り入れ、保育者が楽しんでいる、という姿が全クラスにみられた。

フリーの保育者も園長先生も、それぞれの特徴を活かして保育を楽しんでいる。それが園の盛り上がりにつながっていると感じた。

3回目訪問

振り返りの時、サークルタイムについて、担任の先生から、「今まで『おもてなし保育』になっていたのかも考察した」という話があった。

今回、こどもたちと担任のやりとりが、さらに自然体になっていたのは、担任の自己評価の結果の改善だったと感じた。



Yサポの活動について、三谷先生、担任の先生、Yサポ2名にインタビュー！！



他園を見学する機会はあるけれども、保育をもっと良くしよう！と一緒に話しをしていくことは初めての経験でした☆質の向上を望み、共に学び合って意識を高め合えたのではないかと感じています。三谷先生のお話からも学ぶことが多く、Yサポになってよかったと思っています♪

エクレスすみれ保育園 Yサポ

3回の3歳児クラスへの訪問で、こどもや保育の悩みについて語り合うことは多くの学びがありました。他園の保育を見せてもらうことで、自分の「あたりまえ」を振り返る機会にもなりました。自園でも自分の気づきや楽しかった体験を伝え、保育観の広がりにつながりました。

横浜市港南台第二保育園 Yサポ



(公開保育後の語り合いの様子)

初めての公開保育で緊張や悩みがありました。三谷先生やYサポの先生方から様々な視点でポジティブな助言を頂くことができました。自分の保育を多角的に捉えられたこと、他園の先生方と繋がれたことが大きな財産になりました。

公開保育実施園
3歳児担任



自園の「よさ」や「課題」は、自分たちだけでは意外と見出し難い場合があります。他園の保育者と共に保育を味わい合い、子どもを語り合うなかで、自分や自園の「当たり前」のなかにある「よさ」や「課題」を自分たちで見出し、それぞれが自分の保育をよりよくしていくきっかけを生み出していたように思います。

関東学院大学 三谷先生

Yサポの活動は、横浜市全域に広がってきています。今後もYサポの気づきや学びについてまた、訪問園の保育者の思いなどもお伝えしていきます。ぜひ、見てくださいね！